

学ぶ楽しさ、できる喜びを感じることができる児童の育成
～ 協働的に学ぶ「ピア・ラーニング」に重点を置いて～

2年生のめあて

- ・ピア(同じ目的をもつ仲間)で意見を出し合い、課題を解決する。
- ・自分の選択した課題に、何度も挑戦して、粘り強く課題に取り組む。

生活科 つくる 楽しさ はっけん

子どもたちの



分かった！できた！

もっとやりたい

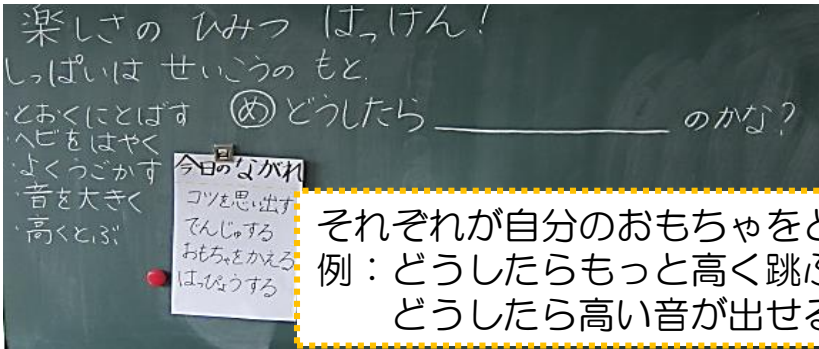


を引き出す生活科の授業

- ピアでおもちゃづくりのこつやお客さんを楽しませるこつを教え合い、楽しく課題に取り組むことができるようにする。
- 様々な道具や場所を設け、いろいろな方法を繰り返し試すことで、粘り強く課題に取り組むことができるようにする。

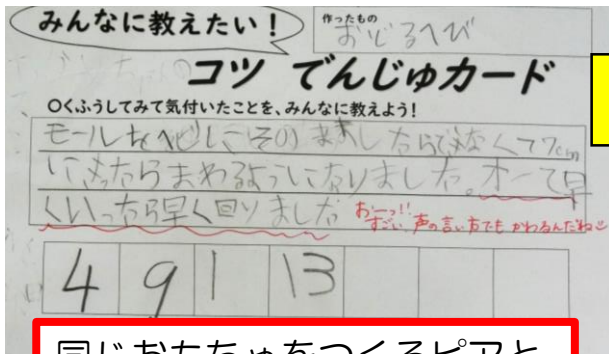
授業の様子

わたしは、ゴムロケットをもっと遠くに飛ばしたいです。



それぞれが自分のおもちゃをどうしたいか、課題をもった。
 例：どうしたらもっと高く跳ぶのかな？
 どうしたら高い音が出せるのかな？ など

本時 ピアにおもちゃづくりのこつを教えてもらったり、自分で試したりしながら、粘り強く考えて、おもちゃをより楽しめるようにする。



同じおもちゃをつくるピアとこつを教え合い

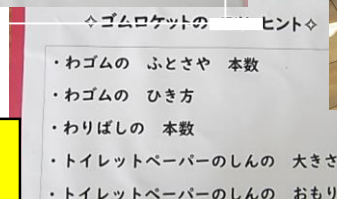
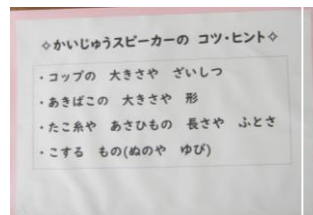
新たなこつを知り、取り入れたいことを試すために改良

ゴムの本数を増やしたら、高く跳んだけど、紙がすぐにぐにやぐにやになっちゃうな。

困ったらヒントカードを確認



改良して、変わった点を発表し、さらなる課題を見付ける。



本時 1年生を招いて「おもちゃ大会」を行うために、どんな準備が必要か、遊びの約束やルールをどのようにしたらよいかを考えて、ピアで話し合う。

ピアで行ったおもちゃ
やさんを振り返る。

めあて もっとおきさんが楽しんでくれるおもちゃ
さんを作ろう。(1年生)

①考える
②しんが
③ふりかえり

おきさんに教えた
点教を言ふ
「はいしゃい」

友だちのお店を
作る

おきさんでできた
5つ作り作る
ついでに
作った
ぼんが
作る

ぼんが来た
来てくれた
おきさんがのこ
り人が多くていい
かな

アドバイスカード	アドバイスカード
(フーフーコップ)の人へ ふとごやほそきをおこ しがえてみたりどうで すか?	(ふきもどし)の人へ えきもどしのくち けるにこをもっし 作つたほうかいいお い きってめちやくちや しんが(1)おきさん (1)ぼんがもい いかな



たくさんアドバイス
があるから迷うね。

ピアでアドバイスカードを見
て、どうしたらいいか考える。

ゲーム屋のコツ でんじゅカード

①おもちゃを見て気付いたことを、みんなに教えよう!
ストローをぐるぐるをよがめた。おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが
ないストローをぐるぐるをよがめた。おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが

②コツを聞いて、もっとふゆしたいところを考えよう。
おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが
ないストローをぐるぐるをよがめた。おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが

③おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが
ないストローをぐるぐるをよがめた。おきさんくこのま
でくちでしめした。だからぼんが

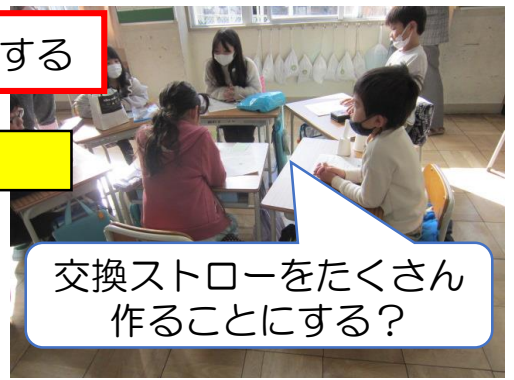
おきさんへおす
だれかなにをよがめる
(おきさんへ)

こつかんをよがめる
おもちゃをもつ作る



何をするか話し合う

ピアで1年生に楽しんでもらえるように改良する



交換ストローをたくさん
作ることにする?

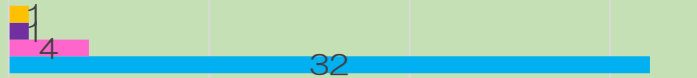
1年生を招いて、おもちゃ大会を行う



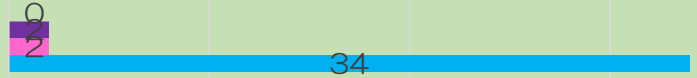
ここをひっく
り返すよ

児童へのアンケート

あきらめずに何度もおもちゃの改良ができた



おもちゃを良くするために友達の話を聞いた



もっと色々なおもちゃをつくりたいと思った



■ 思わない ■ 少し思わない ■ 少しそう思う ■ そう思う

児童の感想



自分でつくりたいおもちゃや改良の仕方が選べて、楽しかった！

材料がたくさん用意してあって、やりたいことがすぐできたよ！



友達の意見や発表を聞いて、試してみたいことが増えたよ。

グループのみんなでおもちゃをつかって、おもちゃ屋さんをして、もっと楽しくもっと仲良くできた気がしたよ。



取り組みを終えて

○ピアでおもちゃづくりのこつやお客さんを楽しませるこつを教え合ったことで、楽しく課題に取り組むことができた。

○様々な道具や場所を設けたことで、いろいろな方法を試して、粘り強く課題に取り組むことができた。

○グループの垣根を越えてアドバイスカードを用いることで、どこの部分に不備があったのかが分かり、改善に努めることができた。

○それぞれがおもちゃを選び、自分なりの方法でめあてに近づいたため、満足度が高く、楽しく取り組める児童が多かった。

●それぞれ別のものでつくったので、課題が多岐にわたり、自分の課題と関連付けて考えることができなかった。